

▼吹田市新旭町通り商店街



topics

▼チャレンジショップゆめちか4期生出店者

- ◎吹田のいいところ見てきました！
吹田市新旭町通り商店街
- ◎連載コラム『経営のはなし』
「進化しつづける道の駅から
見た差別化戦略」
- ◎チャレンジショップゆめちかについて

etc





吹田のいいところ見てきました！

吹田市新旭町通り商店街協同組合

吹田市新旭町通り商店街は、JR吹田駅前から南に延びる車道の西側に位置する、吹田市唯一の全天候式アーケードの商店街です。旭通交差点で南北に分断されており、道路を挟んで北側は衣料品店が多く、南側は食品店が多いため市場のような雰囲気を持っています。

活性化への取り組みとして、毎年夏に開催される手作り夜店、空き店舗を活用した子ども土曜塾、「まちかど川柳」の募集、近隣小学生の絵画展示などを行っています。また、商店街が出資して、「Doポイントカード会」を発足し、ポイントカード事業の中心的役割も果たしています。

商店街は毎週木曜日が定休日となりますが、中には定休日異なるお店もあります。

(参考：JR吹田駅周辺商店街ポータルサイト「すいたうん」)

旭通交差点を挟んで北側と南側、それぞれの商店街の店舗についてご紹介します。

北側（衣料品街）

商店街北側の入り口近くの一角には、ハンドメイドの雑貨やアクセサリー、衣料品、服のリフォームなどの物販店が多く並んでいます。ハンドメイドのお店では、2帖ほどの小さめの店内に手作りの雑貨やアクセサリーがたくさん飾られています。主に工房として店舗を活用しながら店頭での販売を行っています。その他にも、ネット通販や手作り市などのイベントへの出店をされているそうです。

10年ほど前からこの場所にお店を構えている『てるぼの屋』の前川さんは、「同じ業種のお店が並ぶことで、お互いの顧客が他のお店を知るきっかけにもなり、お客さん呼び合うかたちになっています」と話します。



左から『アパレル雑貨 BONHUR.K.』、
『ファッションリフォーム ミイー』、
『手づくりの店 てるぼの屋』、
『天然石 手作りアクセサリー PaoPao』

新旭町通り商店街協同組合理事長

野田 和生(新旭町通り商店街 野田屋)さんにお聞きしました

Q:今の新旭町通り商店街について思うことは？

A:とにかく、お店がもっと増えて、空き店舗が減ってほしいです。集客力のあるお店に是非とも入ってきてほしいと思います。周りのお店と協調しながら、商店街を盛り上げていけるお店ができてくれると有難いです。

南側（食品街）

旭通交差点より南側は食料品のお店が中心となっており、「新旭町通食品街」の看板が掲げられています。

お店は鮮魚店から八百屋、韓国惣菜屋、和菓子屋まで多岐にわたり、中には約60年の歴史を持つお店もあります。



そんな新旭町通食品街に、平成30年4月に新しく『なじみ屋』という居酒屋がオープンしました。『なじみ屋』は、人通りが減りつつある商店街に活気を取り戻そうという思いからできたお店で、新旭町通食品街にある食材をメインに取り扱っています。

また、なじみ屋や旭通商店街にあるいくつかのお店で有志を結成し、地域を盛り上げるため様々な取り組みを行っています。昨年からはその取り組みの一環として、新旭町通り食品街のアーケード内にステージを設け、歌などを披露する『すいたん横丁ライブ』を定期開催しています。

今回は、新旭町通り商店街にあるお店や、商店街活性化のための取り組みについて紹介しました。交差点を挟んだ二つの通りでそれぞれ異なる雰囲気を持つ商店街ですが、どちらの通りも魅力的なお店がたくさんあります。是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。



JR吹田駅周辺商店街の情報は

すいたうん

検索

<http://sui-town.com/>

進化しつづける道の駅から見た差別化戦略

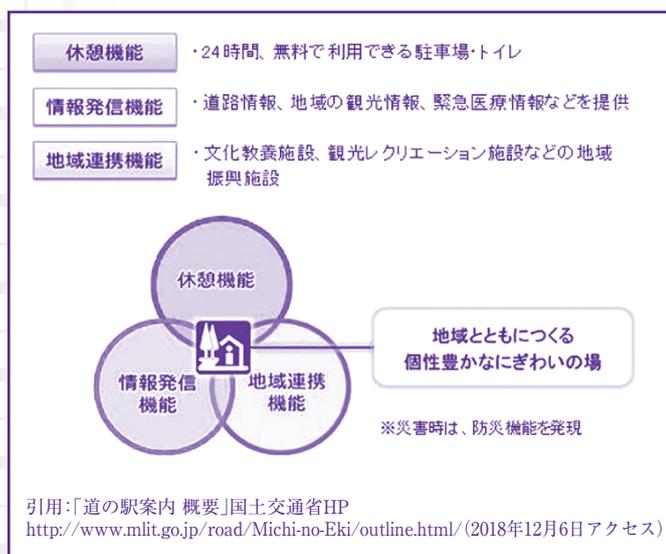
今年も年末年始にかけて、高速道路や一般道では帰省ラッシュが見込まれ、車で移動する方にとっては、交通渋滞に巻き込まれる可能性が高くなります。渋滞を回避するのにひと休みできる休憩場所として、高速道路や一般道には、PA/SAや道の駅があり、その場所に立ち寄る機会もあるかと思いません。

最近では、道の駅がマスコミ等にてクローズアップされつつあります。今回は、1993年に誕生してから25年が経過しても、なお進化しつづける道の駅の取り組みについて、取り上げたいと思います。

1. 道の駅とは

道の駅は、道路利用者の「休憩場所としての機能」、道路利用者や地域の方々の「情報発信機能」、活力ある地域づくりを共に行う「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ、国土交通省で登録された休憩施設であり、全国の登録数は、1,145カ所と増加傾向にあります。近畿2府4県では、132ヶ所が登録されており、全体の11.5%を占めています(平成30年4月25日現在)

道の駅には、ドライブを楽しむ人の休憩施設や地域の文化・名所・特産物など情報発信や物販場所が設けられており、目的地までの通過点という位置づけが、当初は強かったと思います。しかし、近年では、道の駅そのものを目的に来店する方も増えてきており、その位置づけは変わりつつあります。



2. 道の駅の位置づけの変化

関・酒本(2016)によると、道の駅が道路利用者のトイレ利用というレベルから、次第に地域を楽しむものへと進化しており、地域産業の振興のための交流拠点的な意味を強めてきたと述べられています。さらに、農村や中山間地域の活性化を促すものとして「農産物直売所」「農産物加工」「農村レストラン」の三点セットがお客から支持されており、道の駅がその総合的な受け皿になっていることを示唆しています。

また、物販・飲食施設のレストランでは、他のサービスエリアと変わらない画一的なメニュー(定食、麺類など)の提供が中心となっていました。しかし、近年においては、地元の食材を使った伝統の味や、その味に磨きをかけた地産地消のメニューなど、独自性や地域性を活かしたメニューを基本に、地元の食の魅力を提供する地産地消レストランが全国的に増えつつあり、他の施設との差別化を図っていると指摘しています。

3. 地域性を活かした道の駅レストランの差別化

具体的には、北海道深川市の道の駅「ライスランドふかがわ」では、地元のお米を使った釜炊き銀しゃり定食、福岡県宗像市の道の駅「むなかた」では、地元宗像市産の旬の食材を用いた漁師料理などの提供。また、高知県四万十川町の道の駅「あぐり窪川」では、それまでのメニューを見直し、地元食材を使うことを徹底した「四万十まるごと膳メニュー」の提供により、客単価の向上を実現させたとのことです。

このような取り組みが起こっている一つの要因としては、「簡便化」「多様化」「高級化」「健康・安全志向」などの食生活の質的な変化により、レストランを利用する方の「地域性」に対する要望が高まっていることが大きいと言えるでしょう。それに対応するために、地元の食の魅力を積極的に取り込むことで差別化を図る地産地消の道の駅レストランが増えていると考えられます。

4. 道の駅レストランのさらなる差別化事例

道の駅レストランでは珍しく、滋賀県大津にある道の駅「妹子の郷」では、滋賀県の地域資源ブランドで有名な極上近江牛A5に特化した専門店レストランを運営しており、盛況を博しています。妹子の郷

は、平成27年8月に京都と滋賀県湖西地域を結ぶ湖西道路上の和邇(わに)ICに開業した道の駅です。

道の駅の施設内には、観光情報施設・道路情報施設・24hコンビニ・特産品販売所・レストラン・トイレ・屋外イベントスペースが設けられています。特に注目すべき点としては、このレストランでは、一頭買いたA5ランクの極上近江牛を使ったステーキやすき焼きを中心としたメニューを提供しており、近江牛の陶板焼きは自分で焼くことで、好みの焼き加減を楽しむことができます。具体的には、本日の近江牛ステーキ・近江牛本日おまかせ膳・近江牛すき焼き膳など、極上近江牛A5を使った高付加価値なメニューが全体を占め、価格帯も3千円～7千円と高価格帯となっています。

【道の駅 専門店レストランの店内雰囲気、メニュー】



本日の近江牛ステーキ
¥7,000
本日の厳選した部位を使用。
2名様でお召し上がりいただけます。



近江牛本日おまかせ膳
¥2,850
特選A4・A5ランクのお肉を使用。
近江牛、比良産田舎ごはん、3品、赤だし、お漬物



近江牛すき焼き膳
¥2,800
特選A4・A5ランクのお肉を使用。
近江牛、比良産田舎ごはん、3品、赤だし、お漬物、温泉たまご

引用:「施設紹介」妹子の郷HP
<http://www.imokonosato.com/about/> (2018年12月6日アクセス)

道の駅では、多種多様な来店者が訪れることから、これらの多くのお客様を取り込むために、一般大衆向けメニュー(定食、麺類等)をセルフサービスにて効率的に提供することで、回転率の向上を図ってきました。しかし、今回の道の駅レストランでは、シニア層らの高付加価値志向の顧客を対象に、極上近江牛A5に特化した、狭くて深いメニューを重厚な雰囲気や丁寧な対面接客にて提供することで、レストランの専門店化というイメージが醸成され、客単価の向上に貢献したと考えられます。

今後も道の駅は増加傾向にあり、隣接する施設との差別化がますます求められます。今回の取り組みは、多種多様なお客様が来店される道の駅においても、顧客を絞り込んだ専門的な店舗が増える可能性を示唆していると思われます。ドライブのついでに道の駅に立ち寄ってみるのは如何でしょうか。



参考文献・資料

関満博、酒本宏(2016)『[増補版]道の駅/地域産業振興と交流の拠点』新評論

「道の駅案内 概要」国土交通HP
<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html> / (2018年12月6日アクセス)

「施設紹介」妹子の郷HP
<http://www.imokonosato.com/about/> (2018年12月6日アクセス)

■ 筆者プロフィール ■



吹田市商業相談員 **辻 紳一氏**
(中小企業診断士)

1969年生まれ。約20年にわたり情報システムの企画・開発に携わり、2010年に中小企業診断士登録の後、独立。専門分野は小売業、サービス業、商店街活性化支援。近畿圏を中心とした各地域で商業活性化の登録専門家として活躍中。

<コメント>

「“問題の解決方法は、クライアントが持っている”ことを常に意識し、“一期一会”の気持ちをもって、“お客様との対話”を心がける。そのような、お客様重視の姿勢で支援いたします。」

◇◇◇◇ **辻先生の商業相談** ◇◇◇◇

吹田市では商業の経営に関することについての相談を実施しています。無料ですのでお気軽にご利用ください。

商業相談日

- ・ 店内相談(市役所市民総務室 中層棟1階 6番窓口)
…毎月第3木曜日 午後1時～午後5時
- ・ 店外相談(巡回相談)
…毎月第2・4木曜日 午後1時～午後5時

相談は予約制で、相談時間は30分～1時間程度です。相談を希望される方は地域経済振興室までご連絡ください。

チャレンジショップ「ゆめちか」出店者4期生のお店

「おうちごはん しまや」が最終営業日をむかえました!



平成29年12月4日からチャレンジショップ『ゆめちか』で営業していたお店『おうちごはん しまや』が、平成30年12月14日に最終営業日をむかえました。

しまやは、日替わりのメインとおばんざいにこだわった定食とお弁当のお店で、新鮮な野菜をつかったおかずや温かい定食が人気のお店でした。出店者の島田さんは、「1年間チャレンジショップで出店して、全てが初めての経験なので最初の頃は勝手が分からず苦労しましたが、半年ほどで食材の使い方やオペレーションに慣れることができました。この場所でチャレンジできて、いい経験になったと思います」と話しています。



『おうちごはん しまや』は、平成31年1月下旬に吹田市江坂で、お酒と手作りのおばんざいを味わえるお店としてリニューアルオープンする予定です。

しまやの最新情報は公式LINEで随時配信しています。QRコードを読み取るとお友達登録ができますので、是非ご登録ください。

しまやの公式LINEはコチラから⇒



チャレンジショップゆめちかとは

吹田市役所本庁舎中層棟地下1階にある喫茶室跡を、起業家のためのチャレンジショップ（通称「ゆめちか」）として活用しています。出店者が本格的に街で飲食業を開業する前段階として、試験的に店舗を運営することにより、起業家のための学び、実践、成長の場として利用します。それにより、起業家育成を図るとともに、本市の特性である開業率の高さ、チャレンジャーを応援するというまちのブランドをPRし、地域経済の活性化に資することを目的としています。



《問合せ》 吹田市 地域経済振興室 TEL 06-6384-1356 FAX 06-6384-1292

創業支援型事業所賃借料補助金の御案内

～吹田市創業計画募集～

～市内で新たに事業所を開設する創業者を支援します！～

市内で新たに事業所を開設し、地域経済の活性化につながる創業計画を実施する創業者を対象に、事業所賃借料の一部を補助することで、新規創業の促進と創業者の事業継続支援を図ります。

補助金の交付を受けるためには、吹田市が実施する認定会議において、創業計画についてのプレゼンテーションを行った上で、認定創業計画の認定を受ける必要があります。
(認定会議は平成31年2月19日(火)に開催予定)

《対象者》

次のいずれかに該当する者であること

①認定創業計画の認定を受けた月の翌月から起算して、6か月以内に新たな事業を開始する計画を持つ個人

②認定創業計画の認定を受けた月の翌月から起算して、6か月以内に分社化等により新たに設立する会社において新たな事業を開始する計画を持つ親会社

※応募資格は他にもございます。詳細は募集要項(吹田市ホームページからダウンロード可)を御覧いただくか、以下までお問合せください。

《応募方法》

募集期間中に所定の様式を

吹田市役所 低層棟3階316番窓口 地域経済振興室まで持参ください。

(吹田市ホームページからダウンロード可)

《募集期間》

平成31年1月31日(木)まで

《問合せ》

吹田市 地域経済振興室 企業振興・融資担 TEL 6384-1356 FAX 6384-1292

平成31年度吹田市環境表彰候補者を募集します

本市では、吹田市第2次環境基本計画に掲げる取組分野をはじめとし、広く環境の分野で功勞のあった方を表彰しています。平成31年2月1日から推薦を受け付け、表彰式は環境月間である6月に行います。環境政策室ホームページに掲載している所定の推薦書に御記入の上、御提出ください(自薦・他薦は問いません)。



表彰者の集合写真



表彰式後の懇談会の様子

《問合せ》

吹田市 環境部 環境政策室(環境表彰担当) TEL 06-6384-1701 FAX 06-6368-9900

売上アップにつなげる！LINE@活用セミナー

※当日は、LINEを使用できる端末（スマートフォンやタブレット）を御用意ください。

- ≪講師≫ 有限会社ダイスマネージ 代表取締役 山田 光一 氏
 ≪日時≫ 平成31年2月20日（水）
 18時30分～20時30分（受付開始18時15分～）
 ≪場所≫ 吹田市文化会館メイシアター集会室
 ≪対象≫ 市内中小企業の経営者、従業員等
 ≪申込≫ 所定の用紙を吹田市役所 低層棟3階 地域経済振興室まで
 （メール・FAX・郵送・持参）
 吹田市のHPで申込書をダウンロードできます。※定員は先着50名です。

初心者でも大丈夫！今からでも遅くない！

Instagram活用セミナー

※当日は、スマートフォン（Instagramのアプリをインストールしたもの）を御用意ください。

- ≪講師≫ 株式会社squarewall（スクウェアウォール） 代表取締役 野村 真介 氏
 ≪日時≫ 平成31年2月26日（火）
 18時30分～20時30分（受付開始18時15分～）
 ≪場所≫ 吹田市文化会館メイシアター集会室
 ≪対象≫ 市内中小企業の経営者、従業員等
 これから集客にInstagramを始めたい方向け
 ≪申込≫ 所定の用紙を吹田市役所 低層棟3階 地域経済振興室まで
 （メール・FAX・郵送・持参）
 吹田市のHPで申込書をダウンロードできます。※定員は先着50名です。

吹田市商業相談をご利用ください



資金面のご相談、販売促進のあり方、経営改善など、商業の経営に関することについての相談をおこなっています。無料ですので、お気軽にご利用ください。

●相談日時（庁内）

とき／第3木曜日 午後1時～午後5時 ところ／市民相談室 市役所1階6番窓口

●相談日時（庁外）

とき／第2・4木曜日 午後1時～午後5時 ところ／相談員が商店街などを巡回相談します

≪申込み≫ 吹田市 地域経済振興室 商業担当 TEL 06-6384-1356（予約者優先）